

# 浅口と安倍晴明伝説



平成24年度  
熊山遺跡群調査・研究会  
10月講座

## 目次

### 前章

陰陽道について  
歴史・人物・仕事

### 後章

伝説の背景を探る  
備中国への位置づけ

発表者 林 富士男

# 陰陽とは

古代中国で生まれた陰陽五行思想にもとづいて、律令制下の役所陰陽寮を母体に平安時代前期に成立した呪術宗教

万物は木. 火. 土. 金. 水で成り立っている

## 陰陽師の仕事

天文の動き、地理の形成をもとに

国家. 天皇. 貴族を災厄から守る儀式を司る

※怪異や病気などの原因を占い、それに対する

祓えや災いを避け延命を求める祭祀の実行

※初期は朝廷. 貴族中心だったが、中世後半には

大名. 武士から藩政には領民へも信仰がひろがる

# 日本陰陽道の流れ

2

中国

古代中国に発生した民間信仰

紀元前1700年頃 夏王朝...「連山」と称す

殷王朝...「歸藏」と称す

紀元前1100年頃 周王朝...「易経」作る

日本

3世紀頃 「魏志倭人伝」中へ「骨を焼いて卜し吉凶占う...云々

※古代中国の影響が出始めている頃でないか？

邪馬台国の卑弥呼 シャーマニズムによる支配

4世紀～5世紀 古神道の中から自然崇拜. 磐座信仰. 山岳信仰が  
この頃から発生

6世紀頃 大和朝廷統一頃 朝鮮半島から伝わった  
継体天皇頃 「日本書記」の中へ 百済の「五経博士  
段揚爾」より奉る「易経. 書経. 詩経. 礼記. 春秋」

577年 百済より呪禁道 伝わる 山岳信仰と習合する

7世紀	676年 天武天皇 陰陽寮整備設置 国家管理とした 690年頃 賀茂役小角活動始める 修験道極める
8世紀	701年 大宝律令で陰陽道 国家職務とする
9世紀	平安京 ※ 朝廷. 公家. 貴族で陰陽道流行
10世紀	960年 陰陽師活躍 安倍晴明. 芦屋道満. 賀茂光栄 ※ 晴明 阿部山で天文観察したと伝わる
11世紀	天文道は安倍家 歴道は賀茂家が世襲
13世紀	安倍家は土御門家 賀茂家は勘解由小路家となる その後 勘解由小路家跡継ぎなく断絶
17世紀	1600年 徳川家康 土御門家を再興させ全国の陰陽師の 総まとめ役にする 天文方を設置
19世紀	明治政府 陰陽道廃止 天文局の設置



```
graph TD; A[事務部門] --> B[陰陽頭...長官]; A --> C[技能部門]; C --> D[陰陽部門]; C --> E[暦部門]; C --> F[天文部門]; C --> G[漏刻部門]; D --> H[陰陽師]; D --> I[陰陽博士]; D --> J[陰陽生]; E --> K[暦博士]; E --> L[暦生]; F --> M[天文博士]; F --> N[天文生]; G --> O[漏刻博士]; G --> P[守辰丁]; H --> Q[占筮・地相]; K --> R[暦作り  
日・月食を予報]; M --> S[天文・気象の変  
異を占う]; O --> T[水時計の管理・  
時報];
```

事務部門

技能部門

陰陽部門

暦部門

天文部門

漏刻部門

陰陽頭...長官

助(すけ)  
允(じょう)  
大属(だいさかん)  
少属(しょうさかん)

陰陽師

陰陽博士

陰陽生

暦博士

暦生

天文博士

天文生

漏刻博士

守辰丁

占筮・地相

暦作り  
日・月食を予報

天文・気象の変  
異を占う

水時計の管理・  
時報

# 安倍晴明人物像

5

- 延喜21年(921)生まれる
- 寛弘2年 (1005)没す 85歳
- 75歳で主計権助. 穀倉院別当. 大膳太夫  
備中介を兼務する(備中国の国司の次官)  
摂関政治で藤原道長に厚い信頼受ける

## ※系譜

父は 安倍益材(ますき)

※大膳太夫... 天皇の料理番長

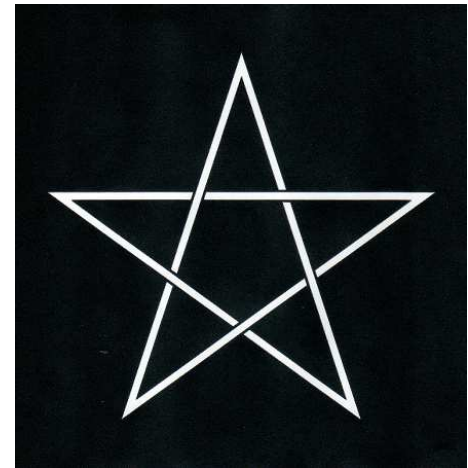
☆安倍氏は大和朝廷の雄族

孝徳天皇期の左大臣で倉梯麻呂がいる

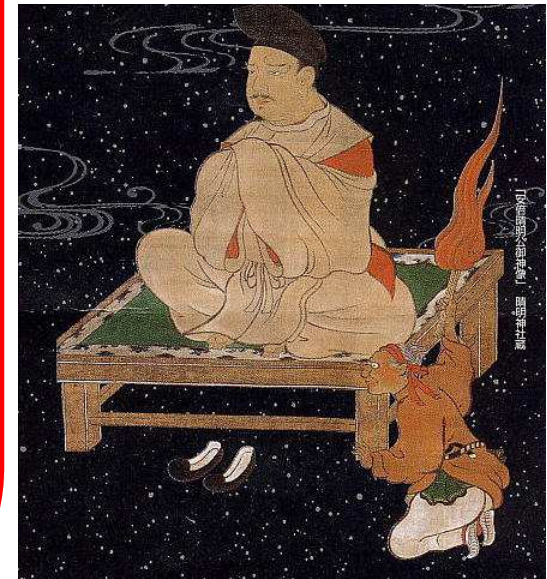
☆賀茂忠行. 保憲から天文道の指導

安倍家は天文道を受け世襲する

賀茂家は13世紀まで暦道を世襲していく



晴明紋 五芒星



晴明画 京都 晴明神社所蔵



# 安倍晴明伝承地

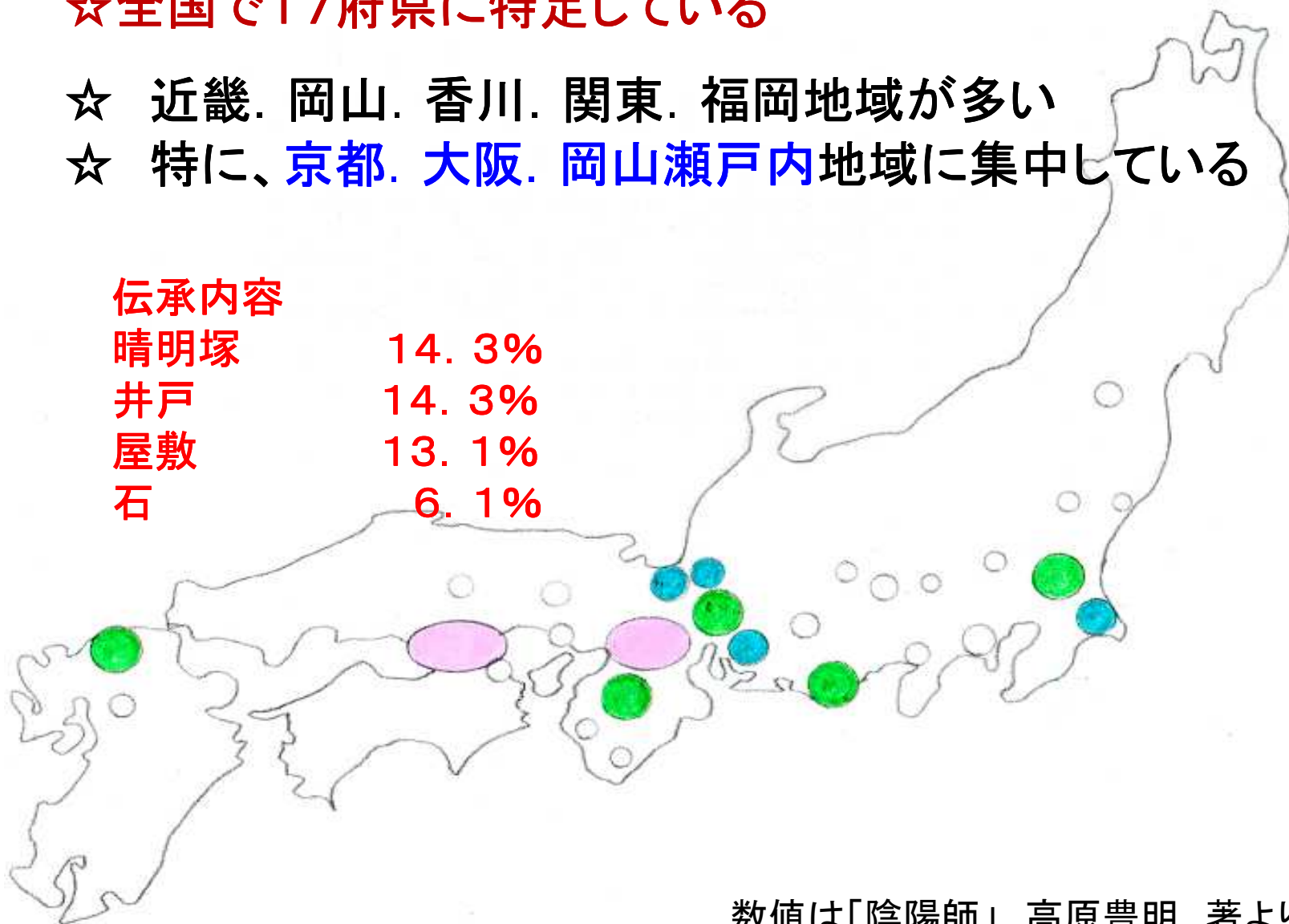
☆全国で17府県に特定している

☆ 近畿. 岡山. 香川. 関東. 福岡地域が多い

☆ 特に、**京都. 大阪. 岡山瀬戸内**地域に集中している

## 伝承内容

晴明塚	14. 3%
井戸	14. 3%
屋敷	13. 1%
石	6. 1%



数値は「陰陽師」 高原豊明 著より引用







# 浅口地域の晴明関連伝説地

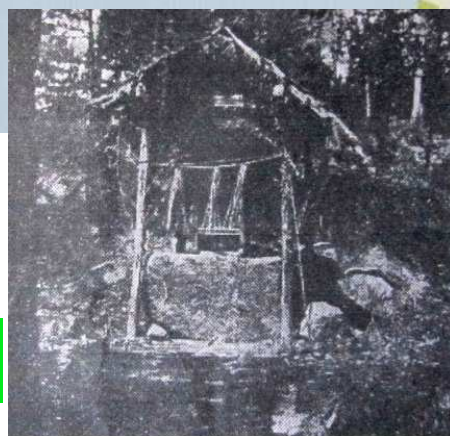
9



連島北面の加茂神社



尾坂 道万の稻荷祠跡



荷稻の敷屋衛道 村田吉

鴨方. 金光. 寄島

浅口郡志に記載

連島 北面城



# 鴨方. 金光. 寄島の伝説地



## 金光町

- |   |          |    |
|---|----------|----|
| ① | 安倍晴明の墓   | 占見 |
| ② | 芦屋道満の墓   | 占見 |
| ③ | 道満池の坊主岩  | 占見 |
| ④ | 日吉(ひえ)神社 | 占見 |
| ⑤ | 小野光右衛門旧宅 | 大谷 |

## 鴨方町

- |   |         |     |
|---|---------|-----|
| ⑥ | 安倍晴明屋敷跡 | 阿部山 |
| ⑦ | 晴明井戸    | 阿部山 |
| ⑧ | 天文観測跡   | 阿部山 |
| ⑨ | 晴明神社    | 阿部山 |

## 寄島町

- |   |       |     |
|---|-------|-----|
| ⑩ | 大島八幡宮 | 青佐  |
| ⑪ | 大浦神社  | 大浦  |
| ⑫ | 青佐山城  | 青佐山 |

## その他

- |   |         |     |
|---|---------|-----|
| ⑬ | 白光稻荷神社  | 遙照山 |
| ⑭ | 空幣稻荷神社  | 六条院 |
| ⑮ | 天真如教苑本山 | 阿部山 |



# 浅口市の晴明関連伝説地

## 鴨方町

11



天文観測跡 人口的に列石がある



晴明神社



晴明顕彰碑



## 金光町ー1

12



安倍晴明の墓 占見

占見から吉備真備孫の保憲に習うため、下道へ通った

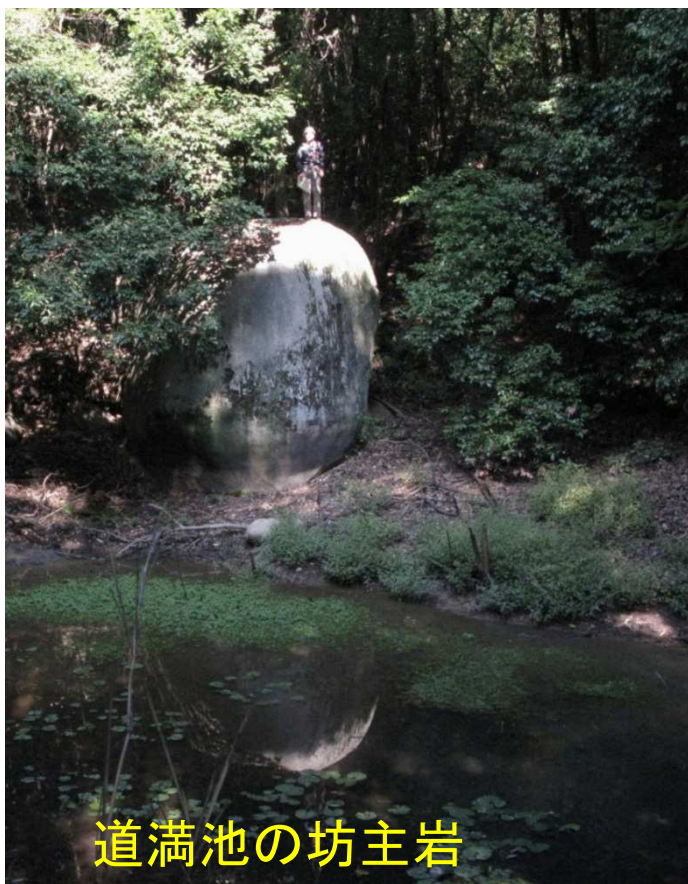


芦屋道満の墓 占見

道満は吉備真備の孫で占見生まれ、多くの占い師が訪ねた



## 金光一2



道満池の坊主岩

金鶏伝説. 血の出る岩の伝説  
 金色り山鳥が飛んできた  
 不吉なため、岩を割ったら血が  
 出た。以後 不吉がなくなった



日吉(ひえ)神社

近江国坂本から勧請。山王権現とした  
 遙照山を比叡にみたてた意味がある



小野光右衛門旧邸

江戸期 大庄屋 和算・暦象家  
 土御門家の門人となり、金光教教祖を指導

# 寄島町



青佐山城 安倍晴明開基



青佐八幡宮 後方は青佐山城  
城からみて鬼門の位置である

## 大浦神社



### 大浦神社考

当初は大島八幡宮といい、寄島にあつて  
長徳3年(997)安倍晴明が応神天皇・  
仲哀天皇・神功皇后の三神を祀った。

細川通董が浅口入りして、永禄年間に  
三郎島から当地へ遷座したとあるが、最  
初は青佐八幡宮に移した説もある。

# 伝説とは

☆ 特定の場所に於いて、起きたと信じられ伝えられた話

英雄伝説. 地名伝説

☆ 言い伝え. うわさ. 風聞

種類	人物. 時 場所	定義	例
昔話	不特定	事実かどうか曖昧 フィクション的	かぐや姫 桃太郎
民家伝説	特定	少しは事実があり 土地. 地名. 年代が具体的	宮本武蔵 小野小町
世間話 口承文学	特定	事実である 真実に近い 100%ではない 文字でなく口承	古事記 日本書紀

伝説の成立過程には、僧. 神官. 知識人が絡んでいると言われている

# 安倍明伝説の始まりは

16

伝説の始まりは 晴明没後 100年... 1100年頃平安後期  
歴史書「大鏡」 説話集「今昔物語」... 賀茂氏と安倍氏の主権争い  
山下克明氏

## ☆ 鎌倉時代

軍記「平家物語」 異本の「長門本」には 平家 徳子のお産時期  
皇子誕生を预言

説話集「宇治拾遺物語」 晴明の優位を書いている

## ☆ 近世

晴明の伝記物語が書かれる(晴明の母は狐)とする内容も記される

## ☆ ライバルとして道満が登場。一説には実在のようだが同時期でない

## ☆ 吉備の場合

貞享元年(1684)在田軒道貞の吉備物語が初見

以降 古戦場備中府志、備中集成志、備中誌に引用されている

## ☆ 在田軒道貞

笠岡新賀村 生まれ 元禄八年(1695)没

高原豊明 著より引用

# 晴明伝説は 何故浅口地域に多いのか

“どんな背景があるのか”

背景の要因を考察してみる

## [1] 地形的環境

吉備の穴海を背景とした地形

## [2] 社会環境

浅口地域の特定層の絡み



# 古代浅口地域の推定図

18

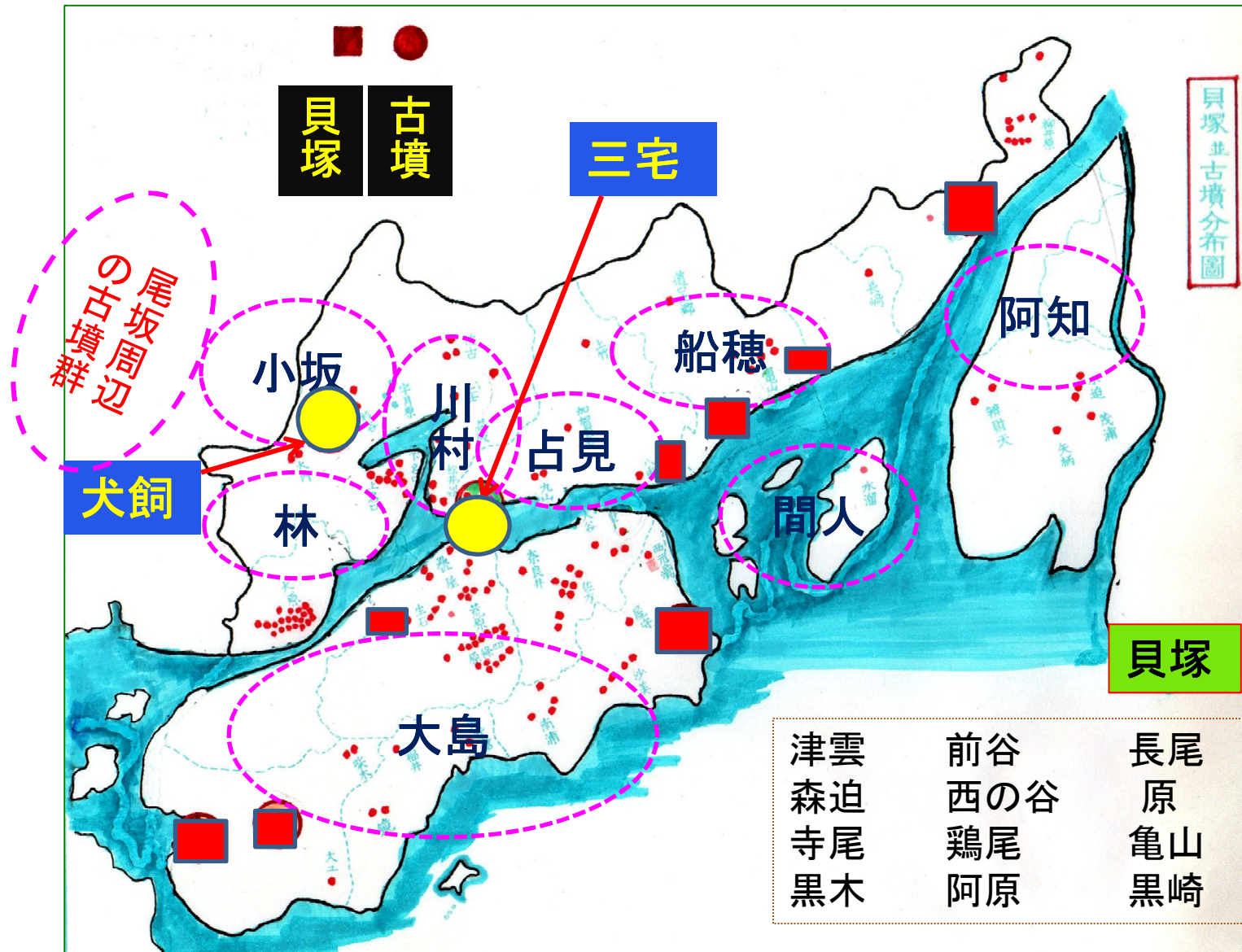


- ① 遙照山
- ② 竹林寺
- ③ 阿部山
- ④ 連島
- ⑤ 神島
- ⑥ 高島
- ⑦ 寄島
- ⑧ 応神山

遙照山・阿部山・御岳山等は花崗岩と石英粗面岩の至り。変質砂岩と接触するは、鉾石・鉾泉あり

# 考察－1 古墳分布図と浅口八郷

19





## 考察－2 古代寺院の意味

20

金光占見廃寺

軒丸瓦出ている



尾坂 関戸廃寺 県指定



浅口地域の古代寺院

古代山陽道から外れている

占見廃寺は屯倉の近くに建立

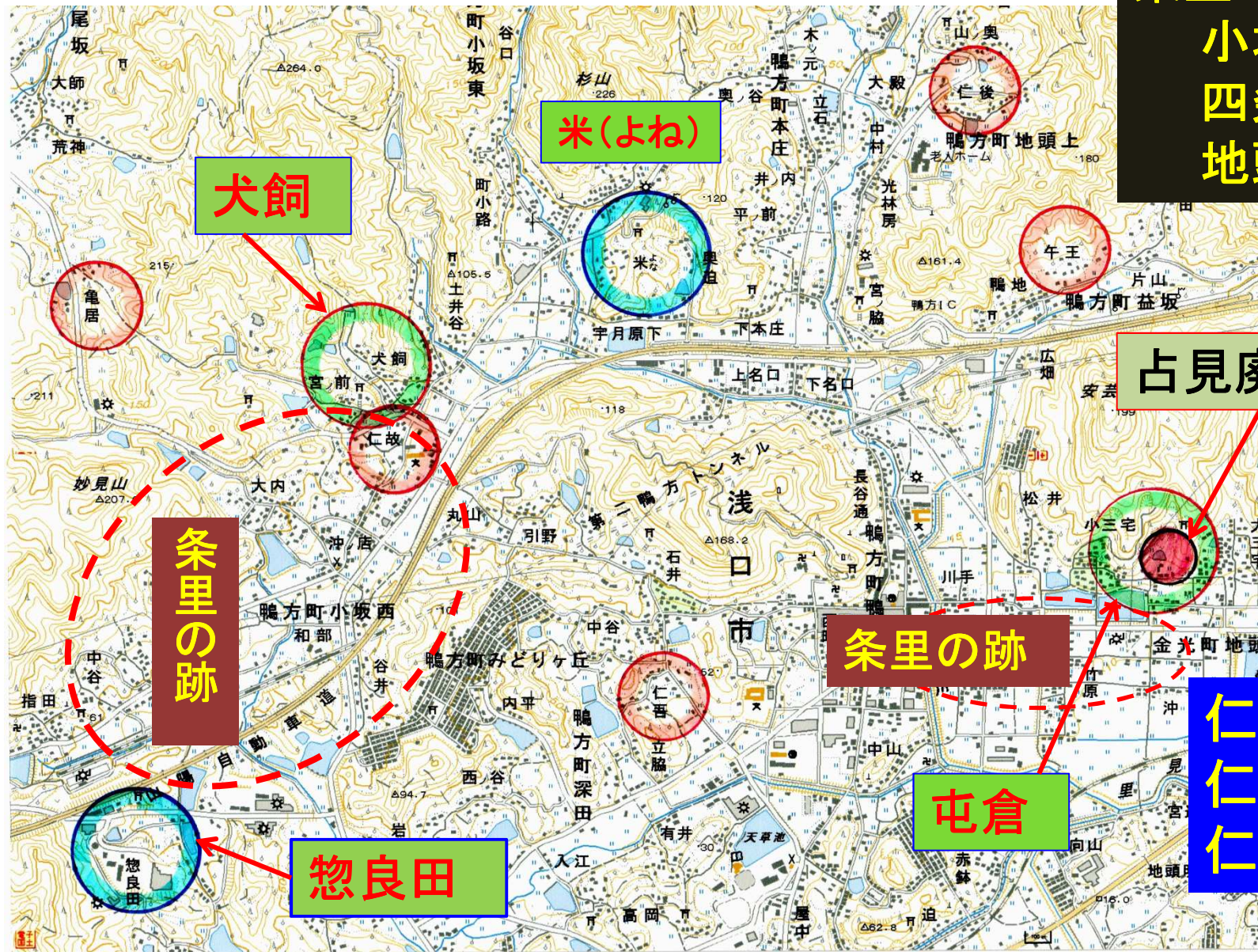
尾坂廃寺は尾坂たたら遺跡に近い

地方豪族にとって、寺院は中央との政治的思惑の象徴か... 財力

中央が認めることで... 支配権を認可された



# 考察－3犬飼と屯倉



条里の跡  
小坂  
四条原  
地頭下

占見廃寺跡

仁後  
仁故  
仁吾

## 古代屯倉・犬飼の意味

- 716年「続日本」
- 「備中国浅口郡犬飼部鴈手。昔配飛鳥寺焼塩戸。誤入賤例至是遂訴免之。」と記す。
- 飛鳥寺の寺奴で塩焼戸として仕事
- 犬飼... 犬を飼って屯倉を警備管理
- 屯倉は 金光町に三宅地名がある
- 当然 船で近くの港から奈良の方へ運んでいたと思える
- 大化の改新以前 屯倉と犬飼(犬養)セット例  
京都亀岡 三宅
- 飛鳥寺は蘇我馬子が造営 . . . . 蘇我氏は秦氏系
- 浅口へも秦氏の影響がおよんでいる



# 考察－4 古代たたら. 鍛冶遺跡



浅口 鴨方

和田遺跡  
タタラ跡

金屋 鉄滓

笠岡 尾坂  
タタラ跡







# 尾坂の鉄生産

尾坂地域は現在笠岡市であるが、発音から地名を考察すれば、古代は鴨方の小坂と同じ地区である。地図上からも隣り合わせで確認できる。

## 尾坂の製鉄

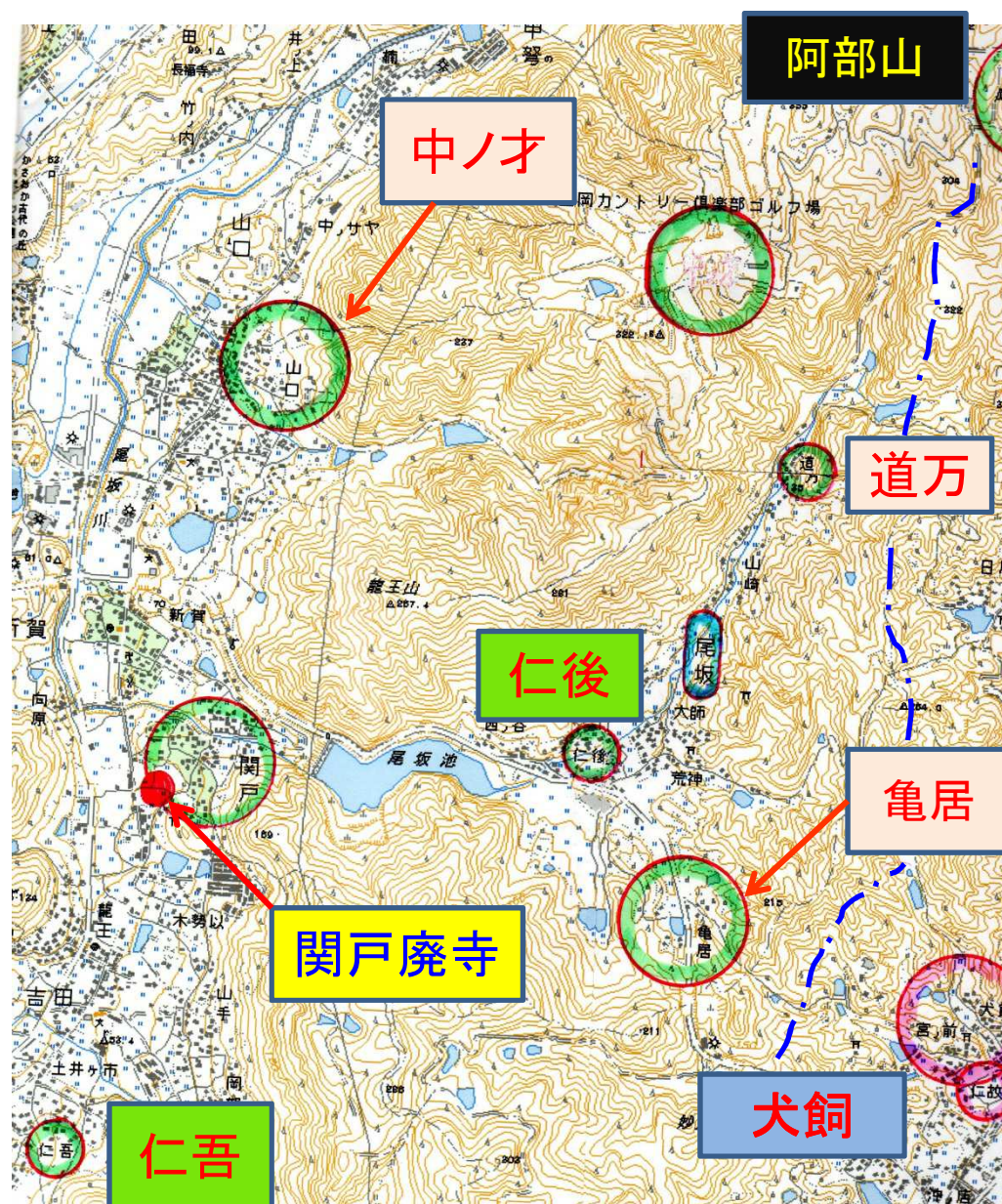
山口 中ノオ たたら

尾坂 亀居

上神 小原井

仁後 仁吾

荷揚げ(近くに浜) 廃砂  
で濁った





# 考察－5 浅口金光の製塩 奈良. 平安製塩

## 塩田. 製塩の条件

- ☆ 少雨. 有風
- ☆ 潮干満差大. 遠浅
- ☆ 薪が豊富

## 釜人(かもんど)

海水を煮詰めて塩を取る為の鉄釜を  
すえた設備. それに関係する人

## 津 古代港

須恵 製塩土器. 貯蔵運搬の壺. 瓶を  
三宅 倉庫

☆ 「備中国浅口郡犬飼部鴈手。昔配飛鳥寺  
焼塩戸。誤入賤例 至是遂訴免之。」と記す。





## 考察－6 須恵器の生産

玉島陶： 5世紀中頃 雄略天皇の時  
朝鮮渡来し 硬質 土器や  
瓦を生産

8世紀 陶で大量生産... 登り窯  
多数発見されている

9世紀 薪と土を求めて亀山に移転

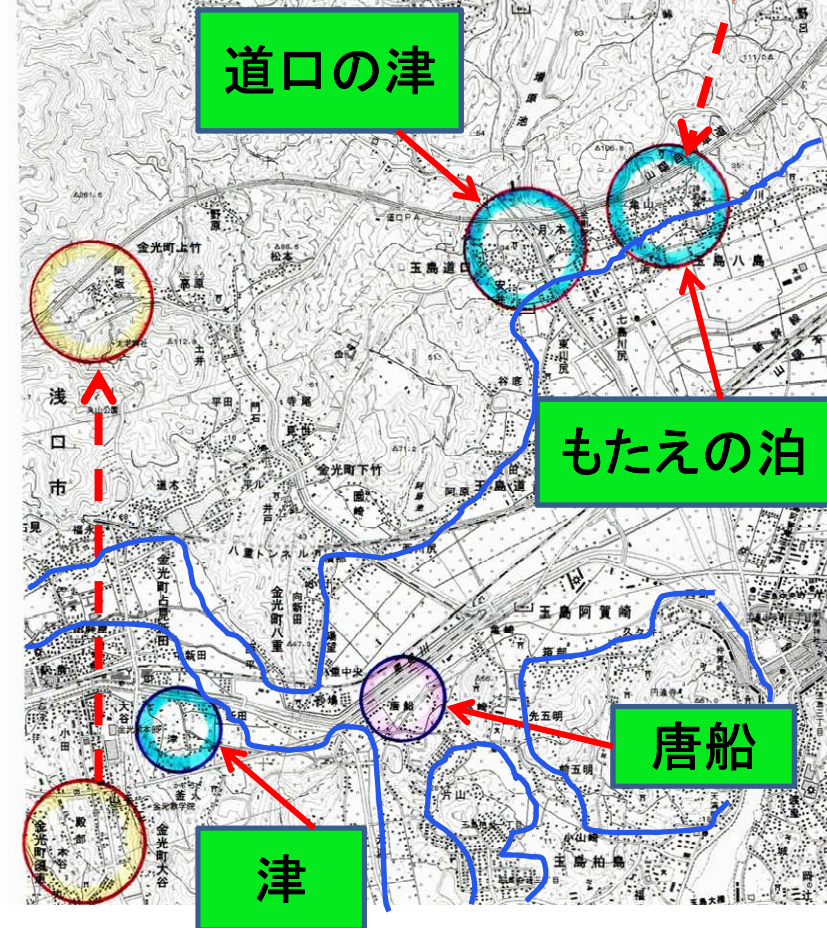
亀山焼 陶の系統をひく  
生活必需品を中心  
鎌倉時代から室町時代  
初期頃まで200年間生産

「甕の泊」：甕を生産し各地へ運び出し  
た港 甕：須恵器のかめ

はこび積む 甕の泊 舟出して  
漕げるとも つきせぬ 貢ぎものかな  
後冷泉院 永承3年(1048)

藤原朝臣家経

※玉島陶と同時期に金  
光須恵でも生産し、後  
に金光上竹でも生産





## 考察－7 天台宗「明王院」の存在

☆県内の天台宗寺院の30%は  
浅口に開基... いずれも慈覚大師  
沿革

☆延暦年中(782～806)伝教大師  
(最澄)が開創

☆慈覚大師が**秘密灌頂道場**を開く  
明王院が「**司灌頂**」として勢力拡大

寺院による国衙領(郷など)を  
荘園として立券拡大  
安徳天皇行幸伝説あり



一説:平忠盛が備前・美作・播磨・但馬の国主の時  
白河上皇の第一皇女没... 六条御所をそのまま寺  
とし、菩提弔う。その時 大島郷の一部を寄進した。  
以後、六条院と云う... 字として四条原がある

寄進型荘園

## 靈山遙照山

☆古代より遙照山は靈山と云う。古代仏教寺院「蓮巖寺」が建立  
浅口郡志では「養子山養子寺」... 瓦葺きの寺院  
養子山、曜星山とも呼ばれ山上仏教が繁栄した古代仏教の聖地  
「養子山千坊」と云われた(備中誌、浅口郡卷之六)



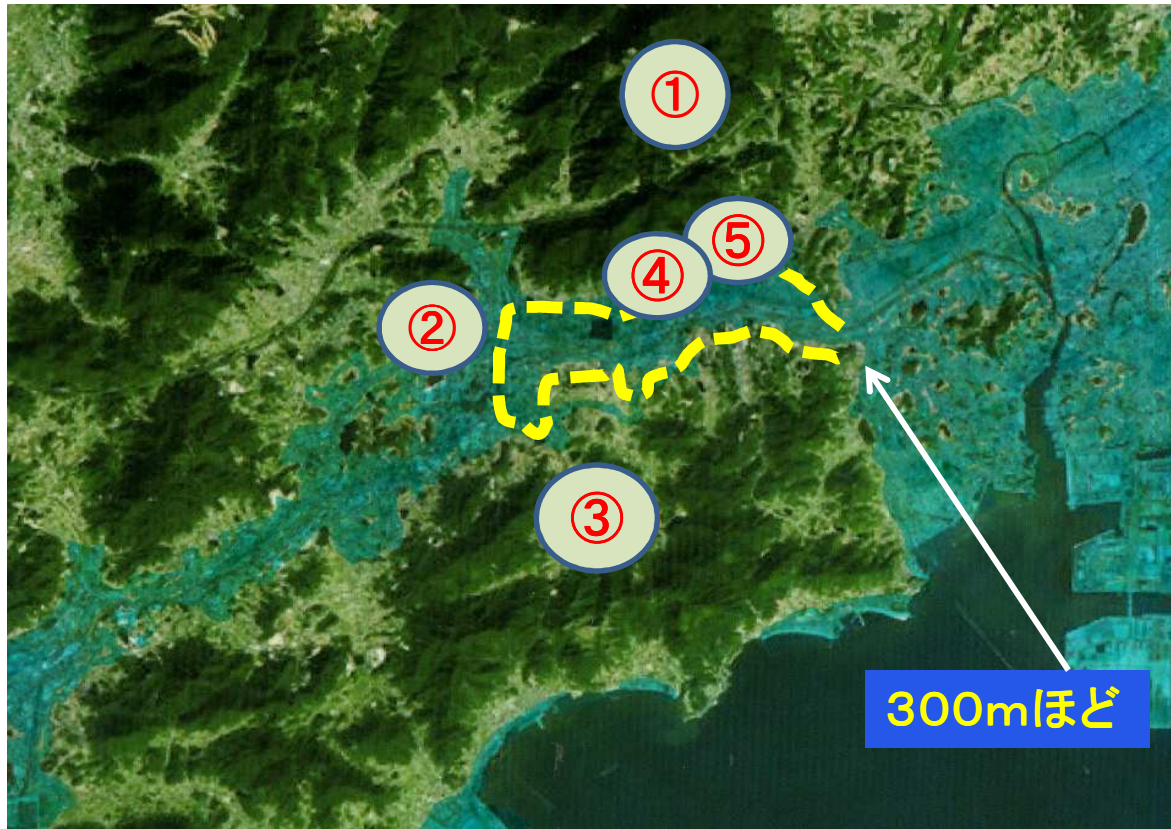
☆ 備前では熊山の山頂に  
帝釈山「靈山寺」あり

熊山にも修験者が修行を展開

# 養子山出入明王院返答書の一節

30

「一古来与養子山千坊. 七原山千坊. 生石山千坊と人皆申伝得も寺は可為少分候得共、比叡山像三千坊を浅口坊と申伝候なり。... 惣而古来者郡内与養子山を比叡と崇申候。子細有之候。郡内を王城之地に表して、北には賀茂大明神南に祇園之社扱又西谷山清水寺申すは千勝院而則京之清水之写に而千手観音なり。



①遙照山(比叡山)

②賀茂神社  
(上賀茂神社)

③真止戸山神社  
(祇園社)

④泉勝院(清水寺)

⑤日吉(ひえ)神社



## 考察－8 修験道

浅口地域に修験者が多くいた  
天台系が多い  
※ 平安初期山岳信仰と重なり、  
山伏の修行が霊山の遙照山で  
展開した  
※ 熊山も修験者多くいた

仕事  
漢学、医学の知識あり  
家伝薬などで庶民救済  
各祈禱活動  
方角占い、虫送り

### 山伏の宗教

- ☆ 古神道の山岳信仰に仏教(呪術的宗教部分)が融合した
- ☆ 天武天皇期に役行者 小角が大和葛城山で活動
- ☆ 武士の政権になって修験者は組織され一段と活動する  
熊野三山を本山とし大峰ゆきが 本山派 天台系  
大峰を本山としてから熊野行きが 当山派 真言系
- ☆ 室町時代には山伏も増加し、隠密、忍者として武將に  
仕える者も出てきた

## 考察－9 守護細川氏の領地支配の背景

32



細川通董



青佐山城

青佐山城について  
吉備群書集成古戦場  
備中府志巻の五  
「安倍晴明開基」と記

室町初期から、備中は細川氏が支配を強化

延文元年(1356)細川頼之配し、京兆家の国  
衙への介入 (直轄支配)

応永14年(1407)鴨山城を拠点に支配...

天文5年(1536)尼子備中侵攻

細川通政伊予へ退却

永禄2年(1559)細川通董 四国川之江から  
毛利の後押しで青佐山へ

一説には旧家臣 安部家が中心に動いた...

大浦神社を遷座勧請

永禄9年(1566)竜王山城へ

天正3年(1575)鴨山城へ **賀茂神社 庇護**

※この時期 毛利公認で「連島」を支配

瀬戸内の制海権得る

連島築城は賀茂光栄(賀茂の保憲の嫡子)

## 鴨(賀茂)神社の勧請の意味

平安初期 承和3年(836)京都賀茂明神  
の分霊を奉祀創建 二葉葵を使用



鬼瓦に二葉の葵

京都上賀茂神  
社の葵祭の日  
に鴨方でも催  
事あり



賀茂大明神額

連島の北面集落にも賀茂神社あり、氏子は地元のことを  
**賀茂郷**と呼んでいる

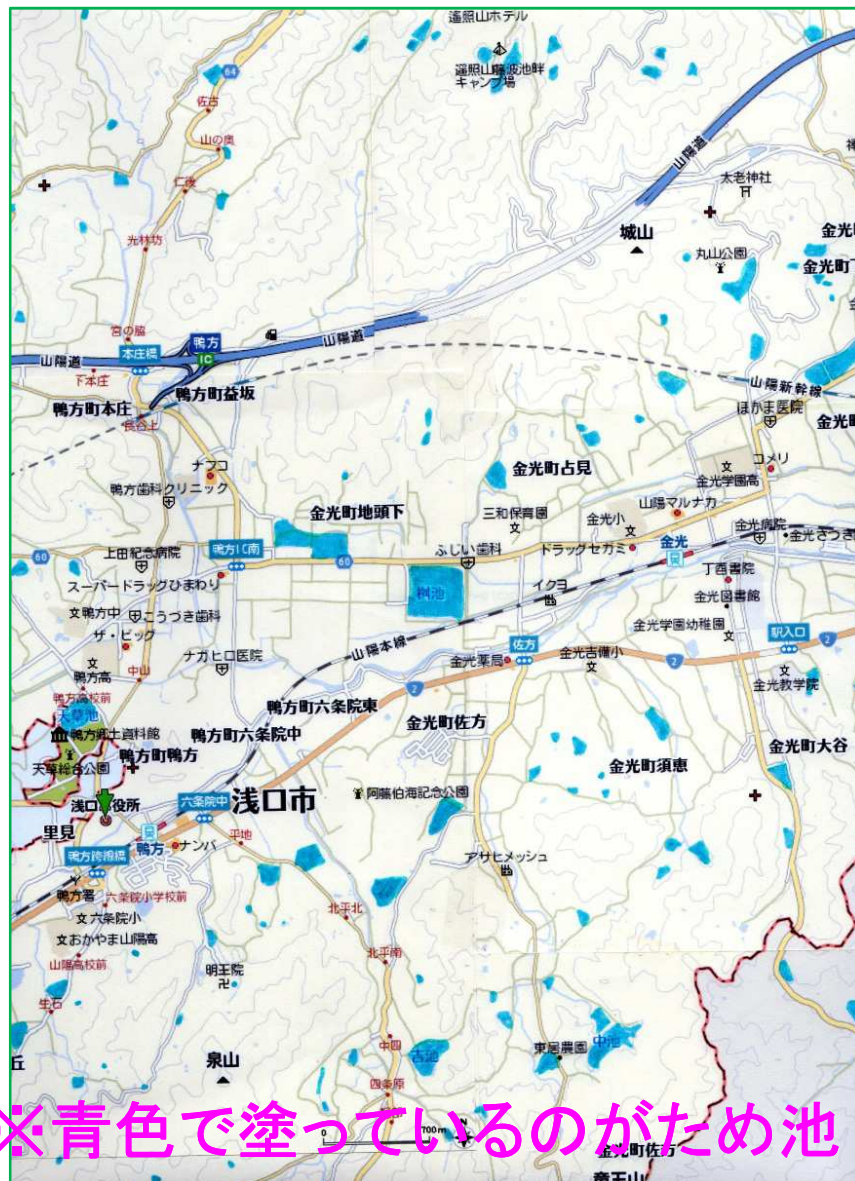
古代賀茂族：秦氏共に大和政権を支えた豪族で、シャーマニズム系  
葛城一族を構成してたと云われている

天神系は京都賀茂神社の祠官家 鴨長明. 賀茂真淵

三輪系から賀茂忠行輩出. . . . 陰陽暦道

# 考察－10 浅口地域のため池

34



※青色で塗っているのがため池

浅口地域は人工ため池が多い

1241面..... 県の12%

岡山県10,049面

☆年間降水量1000mm程度

少雨地域である

☆「備中のひでり」

干ばつ頻発地帯である

☆干ばつ対策の無い時代

天の神「竜王」にすぎる

☆浅口地域に「竜王山」が

6カ所

竜王宮を祀り「雨乞い」実施

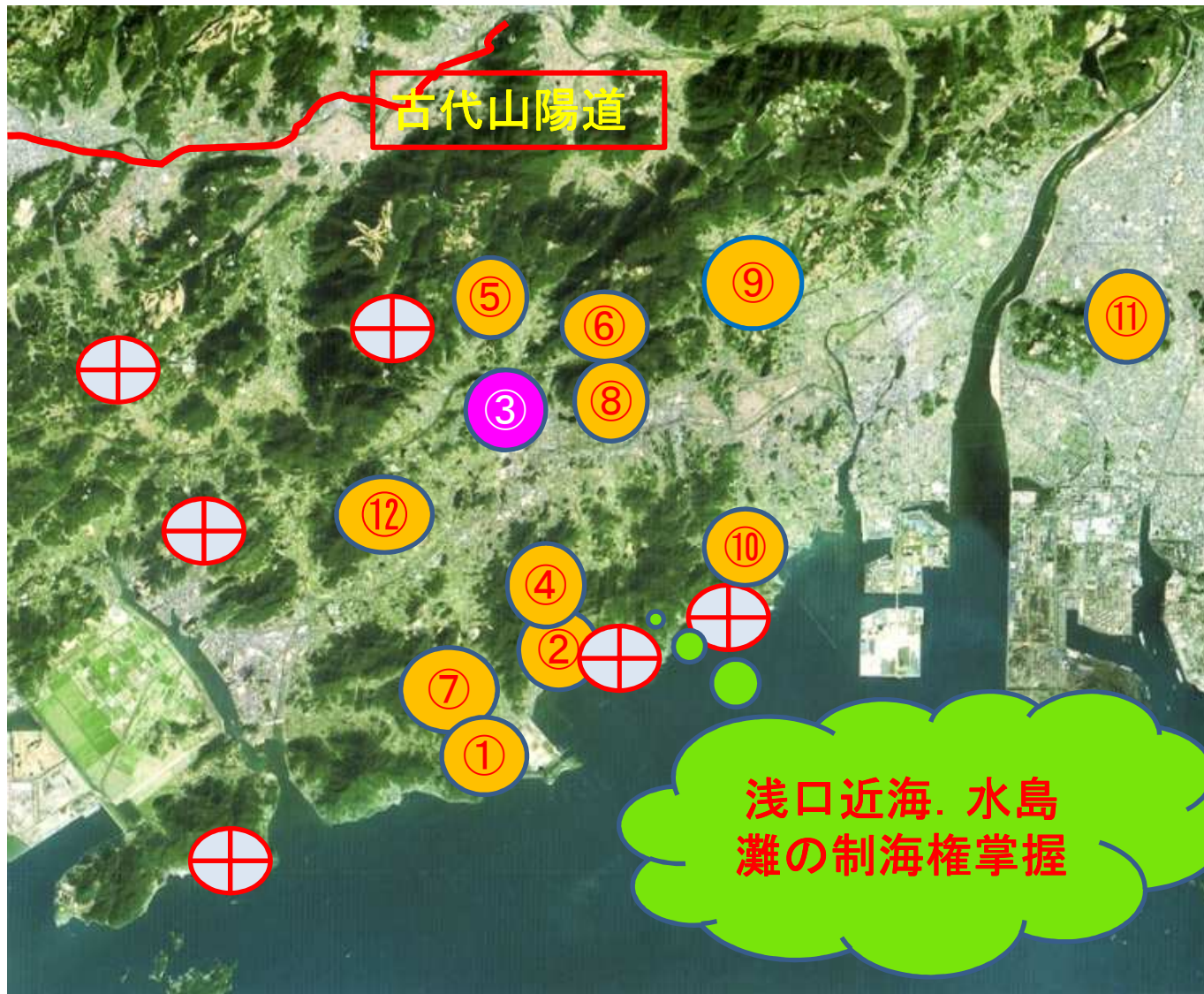
☆近世には新田開発が進む

人口ため池が増えた



# 細川通董時代の環境

35



- ① 青佐山城
- ② 竜王山城
- ③ 鴨山城
- ④ 泉山城
- ⑤ 杉山城
- ⑥ 西知山城
- ⑦ 茶臼山城
- ⑧ 安芸守山城
- ⑨ 上竹城
- ⑩ 佐方城
- ⑪ 北面城
- ⑫ 鳶尾城

⊕ 竜王山



# 晴明伝説のまとめ

- **大和政権から中央との繋がりに秦氏の影響**  
産業の流通(塩・鉄・米・陶器)  
吉備国解体後、奈良・平安期以降も位置づけは高かったと思える
- **修験道と仏教の融合で修験者による権威付け**  
明王院の開基の影響... 陰陽道の優位性を利用
- **細川通董領知安定の為に巧みに利用した**  
**戦国時代で守護権威低下** 青佐山城・連島北面城・賀茂神社  
※ 細川勝元嫡男も熱心に陰陽道に心酔したと云われている
- **降雨の少ない地域で、雨乞いの発生...** 陰陽による祈祷

## 細川の支配意欲の背景... 備中の魅力とは！

- 1, 古代より中央の管理範囲は精々 播磨少し伸ばして備前まで
- 2, 中世後期まで大嘗会主基国で国家的祭祀で枢要の国
- 3, 足利政権確立・豊臣政権への助走... いずれもがこの地が出発点  
畿内近国勢力・九州・西国勢力区との軍事接点
- 4, 尼子・細川の接点地域(備中国北部)

抜粋  
鴨方町史  
吉備物語

# 終わり

幕末の三大宗教

金神信仰(金光教)の発生

昭和35年

竹林寺国立天文台開所



竹林寺  
国立天文台岡山天体物理観測所



金光教本部

ご静聴有り難う御座いました



## 参考文献・著書

日本古代氏事典 佐伯有清編  
古代豪族の研究 別冊歴史読本  
古事記と日本書紀を歩く 日本交通公社  
金光町誌本編 鴨方町史本編・民族編  
里町町誌本編 寄島町誌本編 倉敷市史本編  
連島町誌 長尾町誌 六条院町史  
平成22年度金光歴史民俗資料館企画展資料  
金光公民館「阿部晴明ゆかりの地 散策」資料  
先住民と差別 幸田真吉  
陰陽師 桑田真一  
阿部晴明伝説 吉備物語 高原豊明  
陰陽、完全解明 野火 迅  
日本陰陽道史話 村上修一  
陰陽師 阿部晴明に出会う旅 吉田憲右  
岡山の巫女と修験道 中山 薫  
備中誌  
吉備群書集成 古戦場備中府誌  
岡山県通史 古代Ⅱ 中世Ⅱ  
小田郡誌 備中誌 岡山県農業史  
笠岡市史 第2巻 地名誌